

皆さんの声から政策議論へ

SENDING VOICE OF CITIZEN TO THE PREFECTURAL ASSEMBLY



定員がいっぱいで、近くの保育園に子どもを預けられない...

A 少子化対策のため、隠れ待機児童解消を!

第1希望の園に預けられないが、国の待機児童には数えられない子どものことを「隠れ待機児童」といいます。本市に待機児童はいませんが、3歳未満児におけるこの「隠れ待機児童」が松本市の課題となっています。

具体的には、5歳と2歳の子どもがいる家庭で、5歳児を預けている最寄り園に3歳未満児を預けられず、毎日別の保育園にそれぞれ送迎しなければいけないという状況が起こります。

少子化に歯止めをかけるためにも、**子育て世代が働きながら安心して子**

もを産み育てられる環境を少しでも早く整備しなくてはなりません。

この問題の原因は、受け入れるための保育士が不足していることにあります。非正規の保育士においては、待遇と職務環境が見合わず、保育士確保が困難となっている面もあるようです。

そこで、この保育士不足を解消するために、非正規の保育士について待遇を改善すること、保育士の採用数自体を増やすことを提案しました。

こども部からは、働きやすい環境を整えて保育の質を維持することが重要

であることから、非正規保育士の処遇改善を早期に取り組むことと、また、正規保育士の採用数を一時的に増やす考えが表明されました。



地震で熊本城の一部が崩落してしまったけど、熊本城の地震対策はどうなっているの?

A 熊本地震の教訓を活かして、松本城の地震対策を!

石垣に関わる形状データ等を細かく記録する「石垣カルテ」というものがあり、文化庁はこの作成を求めています。

今年発生した熊本地震では、地震のたびに石垣が崩落していく熊本城の様子がテレビで放映されました。この熊本城では、先程の石垣カルテ作成に、まさに今年度着手予定だったとのこと。

これがないために、写真をもとに一部推測で石垣を積み直さなければいけません。

松本地域は地震発生確率が全国一位となり、何時起きても不思議ではない大規模地震の備えは文化財にも必要です。

対策が後手に回ってしまった熊本城を教訓とし、熊本城の文化財的価値を次世代に引き継ぐために、早急にこの石垣カルテを作成することについて提案しました。

教育部からは、文化財としての価値を取り戻すために重要であることから、石垣カルテを作成する考えが表明されました。



松本城石垣の大きさや形状は様々



募金活動をするたびに申請や報告の作業が大変...

A 市民活動推進のため、寄附募集の許可申請を不要に!

市内で寄附を募集する場合、「金銭物品等の寄附に関する条例」に基づき、市長の許可を取らなければいけないこととなっています。

これは、**街頭で募金活動することから、厳密にはインターネットを通じた「クラウドファンディング」と呼ばれる募集形態まで規制の対象**に含まれます。

この条例は戦後混乱期であった昭和27年、あちこちで寄附という名目で生活費を募る行為が横行し、市民間でトラブルのもととなっていたため、

それを規制するために全国的に制定されたものです。

しかし、現代では市民意識の向上も伴って、この条例はその役割を終え、今では円滑な市民活動に支障を来す面もありました。

例えば、熊本地震のような震災支援の寄附募集についても、この許可を取って、その後用途明細の報告も必要です。

寄附募集形態が多様化する中、行政で一元的に管理することも現実的に不可能であり、時代に即していない

ことから、この条例の廃止を提案しました。

地域づくり部からは、条例廃止の考えが明らかにされました。



9月14日付の市民タイムス

市政テーマ ブロック塀は地震の際に倒壊の恐れがあります

平成23年の松本地震、今年の熊本地震でも多くのブロック塀が倒壊しました。

倒壊の恐れがある古いブロック塀は、人への被害だけでなく、緊急車両の通行を妨げ、避難や救助に支障をきたす身近な危険となります。

9月議会の一般質問ではこの対策について質問し、地域と協力しながら啓発・対策が強化される考えが表明されました。

本市では、防災対策の一環として、市内の家庭または事業所において、**境界に生垣を新設、もしくはブロック塀等を解体して生垣を設置した場合に、補助金を交付する事業**に取り組んでいます。

また、自宅のブロック塀が安全か確認されたい場合、自己診断が可能な「ブロック塀点検表」も市で配布しています。

この件について詳しく知りたい方は、市の窓口か、青木たかしままでご連絡下さい。



倒壊したブロック塀 (H19新潟中越沖地震)



会計報告とカンパのお願い

会計報告

収入

個人からの寄附	60,000円
青木たかしの自己資金	685,315円
計	745,315円

支出

会場費	3,520円
研修会参加費 政策研究資料購入費	173,048円
チラシ・名刺の作成費等 ホームページ修正費	568,747円
計	745,315円

カンパのお願い

2016年1月から11月までの青木たかし後援会における収支です。松本市の政務活動費は一人あたり年額25万円のため、政務活動費は会派活動にのみ使用していません。政治活動を一層展開し、充実させていくため、政治献金、カンパでご支援頂きますと幸いです。

※団体による寄附は禁止されていますので、個人名義にてご協力賜りますようお願い致します。

口座名 青木たかし後援会

- 郵便振替 00550-6-51792
- 八十二銀行 寿支店 店番号 420 口座番号 346047
- 長野銀行 芳川支店 店番号 104 口座番号 8820346

TAKASHI AOKI

REPORT

11 vol.2

2016 November

松本の政治をもっと身近に!

26歳、平成生まれの県内最年少議員
松本市議会議員 青木たかし活動報告レポート



Contents

- ここを読むだけ!
青木たかしの議論した内容
- 皆さんの声から政策議論へ
- 2016年会計報告とカンパのお願い
- 後援会入会とSNS登録のご案内



後援会入会とSNS登録のご案内

後援会に入会していただきますと、青木たかしの活動に関する情報をお届けします。

各種SNSも運用しているので、登録をお願い致します。

また、市政相談、グループでの対談など、お気軽に下記連絡先までご連絡ください。今後の活動の参考とさせていただくため、みなさんの声をお待ちしています。

※会費無料。個人情報厳重に管理し、活動のお知らせ以外には使用いたしません。

〒399-0022 長野県松本市松原 24-20
TEL 0263-50-8226 FAX 0263-50-8735
E-mail taoki1230@gmail.com

青木たかし 松本 検索

「@fdy9614h」で ID 検索



青木たかし
プロフィール

1989年(平成元年)12月30日
松本市生まれ 松原在住
本郷幼稚園卒 岡田小学校を転校し、明善小・中学校卒 松本深志高校卒
公立高崎経済大学在学中に衆議院議員公設秘書へ
平成 27 年 4 月の松本市議選にて 3,478 票を頂き、「県内初の平成生まれ議員」として初当選
平成 27 年度 経済地域委員会 副委員長
平成 28 年度 建設環境委員会 副委員長

【ここを読むだけ!】 青木たかしの議論した内容

皆さんの声をもとに、より良い明日の松本を実現し、次世代に引き継いでいくため、青木たかしは市政課題ひとつひとつに向き合います。

12月、2月、6月議会に引き続き、9月議会でも一般質問に登壇させて頂きました。そこで青木たかしが議論し、実現した内容を報告します。



- 1 少子化対策**
隠れ待機児童解消のため、**保育士の処遇改善と一時的な採用増へ**
- 2 松本城の地震対策**
松本城石垣の地震対策として、**石垣カルテ作成へ**
- 3 市民活動の推進**
寄附募集の許可申請を不要にするため、寄附募集に関する条例廃止へ
- 4 地震対策**
地震によるブロック塀崩落対策のため、**地域と協力的な啓発・対策強化**
- 5 外国人観光客の受け入れ環境整備**
外国人観光客向けの観光公式ホームページにおいて、**動画等のコンテンツを充実させ、見やすく、利用しやすいものに改善へ**
- 6 少子化対策**
三世同居・近居を希望する方への住宅支援や総合支援へ
- 7 経済対策**
経済政策「松本ヘルスバレー構想」における地元中小企業へのメリットを増やすため、**健康経営表彰制度創設へ**